

## 二つの意味を持つ名古屋大学記念日

多くの大学が定めている創立記念日ですが、名大では5月1日の「名古屋大学記念日」がこれに相当します。なぜ「創立記念日」ではないのでしょうか。

この5月1日は、ちょうど90年前の1931(昭和6)年に、愛知医科大学が県立から官立(国立)に移管されて名古屋医科大学(名医大)になった日です。名医大は5月1日を創立記念日としました。

1939年、名医大を母体として名古屋帝国大学(名帝大)が設置されました。現在の名大では、この年を「創立」としています。名古屋帝国大学官制(勅令)の施行日は4月1日でしたが、名帝大は5月1日を創立記念日とし、40年から創立記念式を毎年挙行了しました。

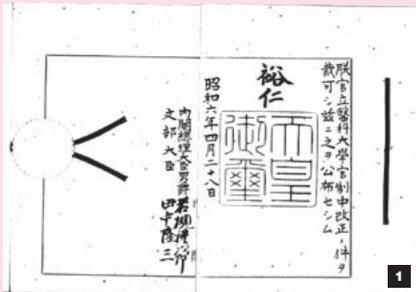
名帝大は、医学部しかない状態でスタートし、翌1940年に理工学部が新設され、ようやく42年に理学部と工学部に分離することができました。それだけに、医学部の存在の大きさは現在以上であったと言えるでしょう。名

帝大は、理学部、工学部が第1回卒業生を送り出して総合大学としての体裁が整った43年、開学式を挙行了しました。これも5月1日に行われています。

1949年5月31日に新制名古屋大学が設置されると、名古屋大学通則において、「名古屋大学記念日」である5月1日を休業日とすると決めました。この頃には、三学部のほか、文、教育、法、経済学部も設けられており、医学部の記念日という性格もあるこの日を、全学の「創立記念日」と呼ぶことは避けたものと思われる。

このように、名古屋大学記念日は、名大が国立大学になった日と、名実ともに総合大学となって開学式を行った日を合わせた意味を持つ記念日と言えます。

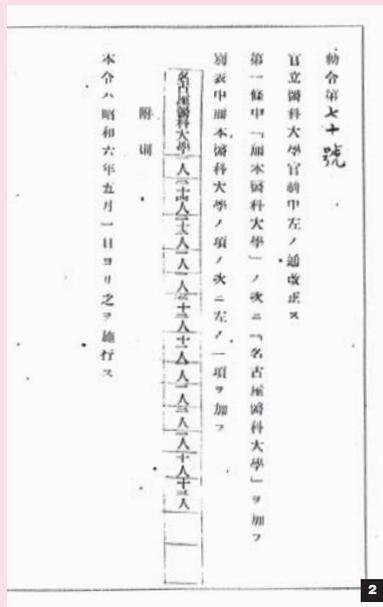
名大が国立大学法人になった2004(平成16)年度から、5月1日は休業日から外されました。これにより、この名古屋大学記念日が学生や職員に意識されづらくなった面もあるようです。



1・2 官立医科大学官制中改正(勅令)の天皇裁可署名原本(国立公文書館デジタルアーカイブ)。写真2の方に、名古屋医科大学の設置と、5月1日施行の記述がある。

3 名古屋帝国大学開学式の様子。なお、創立時に定めた名古屋帝国大学通則には、休業日として「名古屋帝国大学記念日」が挙げられている。ただ、それが何月何日なのかは明記されておらず、当時の記録を見ても、5月1日は創立記念日と呼ばれていたようである。

4 写真3の会場となった特設テント。現在の東山キャンパス工学部5号館の辺り。



### 名古屋大学基金のご案内

名古屋大学が優れた人材輩出や世界的な研究成果により、今後も日本や地域に貢献し続けるには、安定した独自財源が必要です。「名古屋大学基金」はその基盤であり、皆様からのご寄附を、さまざまな事業に活用させていただきます。何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



### With コロナでのキャンパスライフ応援事業(基金)ご支援のお願い

名古屋大学では「新たな生活様式」を取り入れ、安心・安全に充実した学生生活を送れるよう、「With コロナでのキャンパスライフ応援プラン」を実施します。学修環境や課外活動への対策に加え、一人ひとりの悩みに寄り添う学生支援などを進めてまいります。コロナ禍においても挑戦する姿勢を育み続けるため、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

Webでもご寄附を受け付けております。



<https://fundexapp.jp/nagoya-u/entry.php?purposeCode=110000>

ご寄附のお申込み、お問い合わせはDevelopment Office (DO室)あて(電話052-789-4993、Eメールkikin@adm.nagoya-u.ac.jp)をお願いいたします。

詳しくはホームページをご覧ください。

アクセスはこちらから

名古屋大学基金

<https://kikin.nagoya-u.ac.jp/>

